

らにはる報広

発行所
西原村役所
電話 (095) 2401
印刷所
中部印刷KK
電話 (077) 4464

村の世帯・人口

1968年1月末日現在

総世帯数1,849戸

男 4,909人

女 4,948人

計 9,857人



当月の人口移動

出生 18 死亡 3

転入 11 転出 13

婚姻 9 離婚 1

九、暮らしのメモ

11 新入学通知……………西原区教育委員会

10 翁長、宮平さんら表彰……………

9 生年祝をやめて寄附……………

8 体育研究発表会……………西原小学校

7 母校の美化作業……………

6 分任出納員を任命……………

5 戦後最高の大人の仲間入り……………

4 旧正間に合し老年金支給……………

3 西原中学校に二重の栄冠……………

2 小那覇、兼久に配水管工事……………

1 西原村章図案募集……………

八、村の話題

七、農協だより「家族ぐるみの健康管理」……………

六、本校の進路状況……………西原中学校

五、庁舎建築平良、三和両社に落札……………

四、産業展示即売会を計画……………

2 きび作改良……………

1 そ菜作改良……………

三、考える農家経営……………

二、集塵装置と設置……………中部製糖

一、住民サービス本意に……………村事務改善委員会を組織

6 6 6 6 6 6 5 5 5 5 5 5 3 3 3 2 2 2 1 1

住民サービスを本意に

西原村事務改善委員会を組織

西原村では、このほど事務改善委員会を組織した。市町村の行政は市町村自治法に明示されているように、住民相互の基本的人権を擁護し、かつ福祉向上に寄与するものでなければならぬと、うたわれていて本村は新川村長就任後、一九六六年二月一日役所機構改革後「窓口事務を中心として」改善を実施してかなり成果を挙げているが、文書管理が不十分な点が多いとされている。

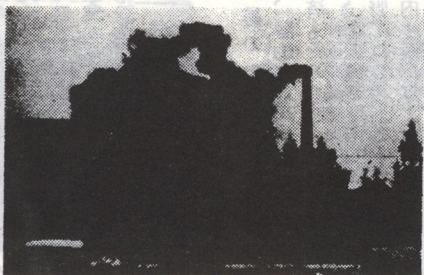
また役所事務は地方公共団体の仕事を機能の面からみると二つの面から見ることもできます。その一つは住民に対して直接的に技能をもっており、いわゆる直接行政の事務である。もう一つは間接的に作用する内部管理の部門の事務であるが、文書の大半は内部管理する事務が多い。このためことし九月中旬庁舎建築竣工にもなつて合理的事務改善対策を期すために本土研修者の職員を中心として事務改善委員会を組織し、村事務改善委員会規則と村事務改善提案に関する規則を制定した。委員会規則には専門部会を設け改善計画を専門的に研究するため、組織

部会、窓口部会、財務部会、文書部会の四部会を設置した。また事務改善提案に関する規則については一般職員のうちから改善意見を提出させ、よい提案を事務改善の作業において活用し、優秀なる提案者については事務改善委員会の審議により表彰することになっているが、その提案については建設的な意見に限りつぎの点をテーマとした。

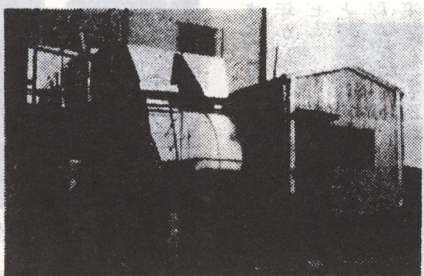
- ① 事務能率の向上に資すること。
- ② 経費の節減になること。
- ③ 住民サービスの向上に資すること。

④ 執務環境を改善すること。
この事務改善を合理的に推進するためつぎのとおり組織した。

委員長	宮平吉太郎
副委員長	翁長 正貞
委員	山畑 清光
委員	玉那覇三郎
委員	佐久川正信
委員	小川 良夫
委員	興屋 厚雄
委員	興屋 仁一
委員	比嘉 貞宗
委員	比嘉 善徳
事務局長	興屋 善徳



(現在も黒い煙は出ているが、もう大丈夫、中部製糖第一工場)



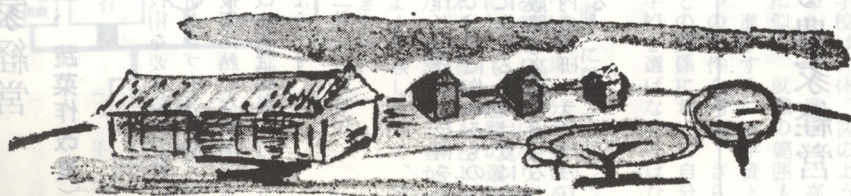
(集塵装置された中部製糖第二工場)

集塵装置を設置

中部製糖が煤煙対策に乗り出した

製糖開始とともに、公害問題がクローズアップされてきたが中部製糖

KKでは、今製糖期から集塵装置を設置、公害問題の解消に乗り出

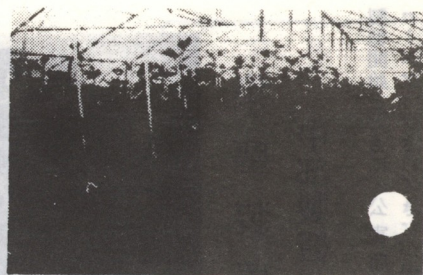


した。この集塵装置はマルチクロン集塵装置と呼ばれ、政府からの長期融資で第一、第二工場に設置された。経費は合計十六万二千ドル。この装置は燃料のバカスを完全燃焼させ、大型ファン(扇風器)でガスとバカスの燃えガスを分離させガスだけ放出するもの。燃えガスは再び燃料として使われ、集塵能力は約九五パーセントという。

これまで両工場から煤煙に悩まされていた地元村や与那原町では、この装置が設置されてからは、被害はゼロに近いといわれています。

このため、同社から西原村に支払われていた煤煙被害の見舞金は打ち切られることになる。

また同社では「煤煙は出ないといっても、重油もいくら使っているので黒い煙が出る。(写真)この煙による被害はないが、付近住民の誤解を招きかねないので近くその対策をする」と話している。



(玉那覇佳秀さんのハウスのキウリ栽培)



(中谷善盛さんのハウスのキウリ栽培)

考える 農家経営

(その一、蔬菜作改良)

蔬菜作は経験と技術を要する農業経営で、西原村嘉手畑農研クラブ中谷善盛、玉那覇佳秀さんは蔬菜技術に熱心な精励農家、現在は、政府農業改良課試験場の方々もこの圃場参観されるようです。

一九六八年二月五日(写)

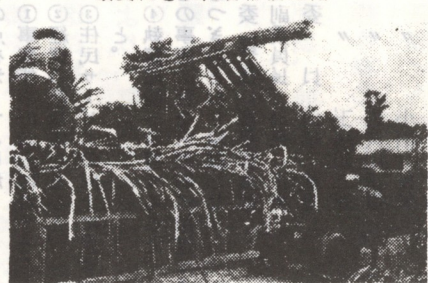
貿易の自由化により糖価は下落し、諸物価は年々値上かりで、農家経済もその余波をうけて農家経営に大きな影響を与えています。また最近野菜は食生活に利用度が高くなり島内生産だけでは需要を満たし得ず、季節はずれの野菜は本土から輸入することをよく新聞紙上で見うけ

ます。そこで本村においては、一昨年から蔬菜園芸の振興を図るため、ビニールハウス設置補助金交付規程と寒冷紗および防風網補助金交付規程など制定し、考える農家経営の対策として現在までに村内に十六棟も設置し、村補助金を交付しその成果をあげている。ビニールハウスによ

る蔬菜作りは経験と技術を要する農家経営で、夏に作れるものは冬に作り、冬に作れるものは夏に作り、市場への販路も高値で出せると……現在村内の農研クラブ員の方々は話している。



改良化された甘蔗積込機



(甘蔗積込作業の状況 - 小橋川で)

考える 農家経営

(その二、甘蔗作改良)

農業経営も年々機械化されている今日、西原村嘉手畑農研クラブ大城勝治さんでは今期から甘蔗積込機の購入を実現し、よい成果をあげています。

沖縄の基幹産業である甘蔗作は、農家所得をうるはす唯一のもので、戦前、戦後を通じてあまり変わっていない。しかしながら第二、第三次産業の発展により第一次産業たる農業人口も第二、第三次産業人口へと年々流失する現状である。こうして現在全琉的に普及されているNCO三〇号は、生態的特徴として再発芽が旺盛であるため、現在の四次株出の場合でも一〇トン近くの収量を上げている農家も多いよう。これまで甘蔗作一辺倒できた農家経営者も多くなっている。これにた

いし今年も砂糖の値段は上らず、甘蔗收穫期になると人手不足になる。もう一つは兼業農家が多いため甘蔗搬出になると日曜日をを利用して甘蔗搬出する人が多くなっている。また労務賃金は三ドルから五ドル。請負搬出になるとトン当たり六ドルから七ドルに値上りしている。こうした労賃の値上りに対して、ある農家の話ではこれは甘蔗は作らない方かよいことをぼけている農家もある。これにたいして西原村嘉手畑農研クラブの大城勝治さんでは農家が一番忙しい人手不足のとき、甘蔗作合理

化の一環として甘蔗積込機(写真)を購入し、今期製糖期から使用し、よい成果をあげています。この積込機は日曜日に男の方か圃場から積込場まで甘蔗を出しておけば、女でも積込作業は容易であり……一時間の積込量九トンから十トンは楽にできるという。今後私たちが農家は甘蔗作合理化の一環としてまた疫病から健康を守るためにもこれからまだまだ改善していくべき点があると思います。甘蔗作改良の重要性は、農家の経営に大きく影響を及ぼす。

産業展示即売会を計画

西原村経済課

西原村では、ことし五月上旬に第一回産業展示即売会を計画している。

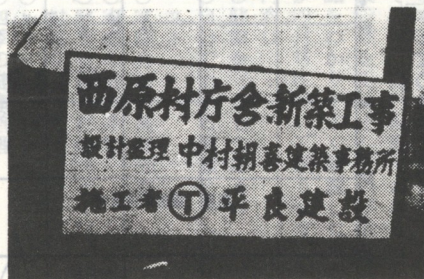
本村は純農村で耕地は肥沃に恵まれながら、さとうきび一辺倒で糖価の下落で兼業農家や兼職農家かふえて肥培管理の面も放置状態の地域が多くなり、農村の産業経済面と村民所得向上の両面から大きな影響をおよぼすものと、村当局と村議会の各専門委員の方かいろいろ検討され、その打開策か急務であるとして、現在結成されている池田、上原、嘉手刈、小波津の四農研クラブを中心に、蔬菜栽培技術のあり方など広く一般に公開するとともに一般農家の産業意欲を高めるため、村内農家が生産した農産物、加工品などの産業展示即売会の計画をすすめている。

産業展示即売会要領

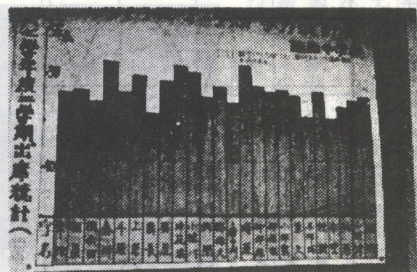
展示即売会の出品の対象は、村内居住者の農家を主体とし出品点数は制限しない。出品受付は展示即売会の前日の午前中とし、出品種目は、八分類し野菜、根菜、果菜、芋、加工品、手芸品、装飾品、花卉盆栽類とする。

また出品の優秀のものから四八点を選定し賞状を贈り、入選しない出品者にたいしても粗品を贈る。

この産業展示即売会は戦後はじめての計画で、農業経営も日進月歩で発達していく今日、村内農家の生産向上と農家所得の意欲を高めるため、村民農家一般に公開する。



(西原村嘉手刈・庁舎新築現場)



(1967年12月24日第二学期学力統計)

本校の進路状況について

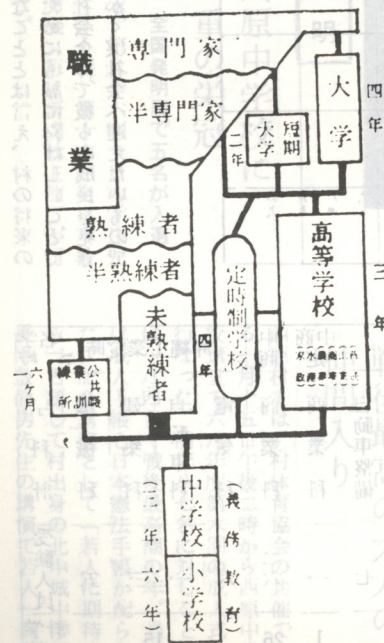
西原中学校

中学校は、義務教育の最終学校で、

進学と就職

子どもらは卒業したら、それぞれ、進学か、就職かの進路を選定する段階でもあります。子どもらは、大きな希望と抱負とをもって思い思いの理想と未来を描きながら、充実した学校生活を送っていますが、みんなそれぞれに大きな可能性をもち、その可能性の中から将来の生きがいのある人生にするための何ものかを発見し、育てていくために、本校では全職員が努力しております。進学するにしても、就職するにしても、その意志決定は子どもらの一生を左右するものであり、そのため進路決定は慎重を期さなければなりません。が、学校としては、どの子どもも一人も誤りなく良い進路を選べるようその指導に当たっています。が、そのような大事な問題は、保護者のみなさまの力さえがもつとも大切であるのは申し上げるまでもありません。

職業と学校は、図のようなつながりがあります。進学は、高い山に登るのに似て、就職の範囲も広がります。進学するには学資と能力、身体三つの条件を考え、さらに将来の職業との関係において自分の適性を考え学校を選ばなくてはなりません。卒業後、直ちに就職する者は、どの職業を選べば将来自分の個性を発揮できるかを考えなければなりません。いずれにしても、進路の選定に当たっては、本人の意志はもとより、学校の先方、保護者の三者が一体となつて、よく相談し合つて、進路を決定すべきです。

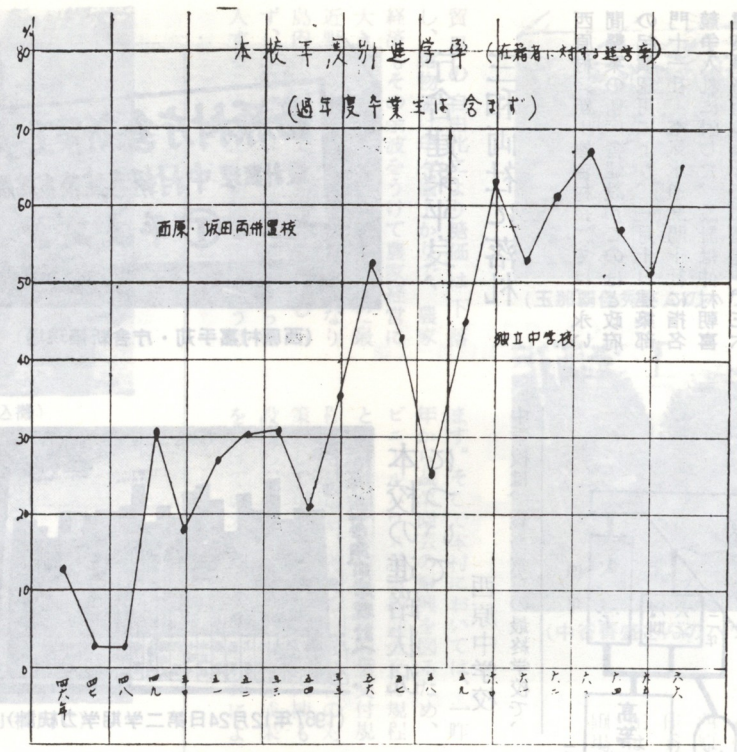


西原村(新川崖吉村長)では、永い間懸案の新庁舎建設がこのほど政府の起債認可により、一月十日建築部門十一社、電気水道部門十社に指名競争入札に附した。設計は仲村朝喜建築事務所の設計で二階建一、三六四平方米、入札の結果、建築部門は那覇市平良組(平良茂雄代表)か十一万一千弗、電気水道部門是那覇市三和電設工業(仲本朝一代表)か一万六千弗で落札、一月二十日地鎮祭を行なった。九月十六日竣工の予定。

戦後本校の進学状況

終戦後、年を追うに従って、進学者は上昇カーブをえがき、最近四、五年は六〇パーセントの線を上下しています。社会のレベルアップに伴い

、当然なこととは言え、村の将来の発展のためにも誠に喜ばしいことであり、社会全体で彼らの成長を見守り、暖かく実社会へ迎えたいたものです。



本年度の進学希望状況

本年度は在籍三〇一名に対して、二五〇名の進学希望者がおり、実に八三パーセント強という高率を示しています。ひとところのように「高校でありさすればどこでも良い」というような考え方がだいぶかげをひそめ、その個人の特性を生かした選択の方法がとられ、その結果は次表の通りである、彼らの一人でも多く合格することを村民のみなさと期待したいものであります。

(第一表) 希望先高校科目受験人員 (一九六八年二月十六日現在)

学校名	学科名	受験人員	学校計
急 普通科	四八		
急 商業科	一六		
知 家政科	二一		
知 商業科	二三		
合計		85	23

学校名	学科名	受験人員	学校計
首里 普通科	三		
首里 普通科	二		
普天間 普通科	四		
普天間 家政科	三		
農林 農業科	一		
農林 園芸科	四		
南部 殖産科	九		
南部 生活科	九		
工業 機械科	一二		
工業 建築科	三		
工業 自動車科	一一		
工業 電気科	三		
工業 電子科	二		
工業 工芸科	九		
農業 農業科	一		
合計		40	1

就職状況

本土、県内のあらゆる事業所から求人が殺到しております。学校としては、労働局、職業安定所の指導のもとに、職業指導を行なっており、すでに七名の女生徒が「東芝電気」をはじめ本土の一流事業所へ決定しております。そのうち大部分の生徒は、就職のみでなく、本土の定時制高校へ入学することになっています。仕事と学業の両立はたいへんむづかしいかも知れませんが、みんなではげまして、立派な社会人として成長することを願いたいものです。県内就職についても、優秀な事業所をできるだけ紹介し、進学しない子どもにも希望をもって卒業できますように、現在指導を継続中であります。

学校名	学科名	受験人員	学校計
与 機械科	五		
与 建築科	三		
工業 自動車科	一		
工業 電気科	六		
沖繩 商業科	二六		
沖繩 商業科	一		
技術 板金熔接	七		
技術 自動車整備	一		
技術 ブロック	一		
技術 家具	二		
技術 機械	六		
技術 建築	二		
技術 ラジオ	三		
技術 配管	一		
技術 自動車車体	一		
技術 電気	一		
技術 冷暖房	一		
技術 内張	一		
興南 普通科	二		
合計		250	2

「農協だより」家の光ニュース

「家族ぐるみの健康管理」

最近、青少年問題がうんぬん叫ばれている昨今、農村婦人ももっと見聞をひろめ、次代をになう青少年のよき母となる為、余暇を利用し読書をする事は大切な事だと思えます。

さて「家の光」は新年号以降系統組織の御意見や御要望を出来るだけ誌面にとり入れて行くため組合と組合員とを結ぶ農協記事の新設と拡充、生活指導員を中心に農協の生活活動の推進をめざす記事の新設を毎月掲載し、組合員教育を目的としたカラー写真、グラビア、本文記事を随時とりあげ「家の光」の特色を強く打ち出して居ります。特に最近農協における生活活動として、健康管理の問題は重視され全国的にその関心が高まりつつあります。

そこで、農村家庭における日常の健康管理を主体とした科学的な実用知識をわかりやすく解説した別冊附録が四月号について居ります。おもな内容は……

○健康を守る七つのカギ
○自分で出来る健康テストと体力テスト

○家庭会談の基礎知識

○家庭の健康手帳

○健康管理の村のスポーツ、体操の村紹介

○レクリエーション

○四季の健康管理

一年を春夏秋冬にわけ、そのおのについて衣・食・住・健康の各面で考えられる具体的な項目を取り上げ保健衛生の立場から、わかりやすく解説されていますので、おすすめていただきます。

お申し込みは村農協又は区長宛お申し込み下されば、毎月皆様方のお手許へ配布されますので、お忙かしい主婦の皆様方には大へん便利でございます。

村の話題

募集

西原村章図案を募集

西原村では、新庁舎完成を記念して

「西原村の村章」をつぎの要領で募集する。内容は本村の飛躍的發展を象徴するもので、規格は二五センチ平方、色彩は三色以内、説明書を添えて住所、氏名、年令、職業など明記、入選者一名賞金三〇〇円を差上げることになっている。締切は一九六八年四月三十日当日消印有効とする。

水道

小那覇、兼久に配水管工事

西原村では、六八年度上水道配水管工事、小那覇、兼久地域六、一五七米の幹線工事を実施、給水人口一、一八三名を対象に共同商會（与那原春一代表）の請負工事、一万二千七〇円、四月上旬から家庭へ完全給水予定で、西原村字兼久一〇〇番地翁長孝明さんと字棚原一〇七番地比嘉篤さんの二人を給水工事指定店として認可した。



（発明くふう展受賞者の激励会）

発明

西原中学校に

二重の栄冠

全国発明展で五名が入選

昨年の末、第二十六回全日本学生児童発明くふう展、第十六回全日本教職員発明展（毎日新聞社主催）が行なわれた。

その結果、受賞、入選作が一月十五日に決まり沖縄から教職員の賞に、西原中学校教諭仲村弘、浦崎政勝両氏の共同研究作品「落体加速度実験器」が奨励賞を受賞したほか、首里高校伊波肇教諭の「木星時計」学生児童の部では西原中学校三年佐久田朝佑、与那嶺克則、玉那覇哲君の「加速度実験器」が入選した。両展は去る三十日から二十四日まで東京都日本橋の三越本店で開催されたがことし沖縄からも琉球新報主催展の地区予選を通じてはじめて参加したもので応募作品（地区予選作）は学生児童の部で全国から五百三十二点が入選百十五点（うち特賞九、奨励賞十二、入選九十四点）教職員の部は百二十一点中四十三点が入選（うち特賞七、奨励賞六、入選三十点）であった。この入賞選にたいし、西原中学校の東恩納徳友校長では、二月三日午後三時から西原中学で二教諭と三児童生徒の激励会を学校職員、PTA役員、教育委員会などで激励会を開催した。

年金

第三回支払は

四月上旬

旧正間に合わせ老令年金の支給西原村では、老令年金支給の第二回支払いを、一月二十四日から二十六日まで三日間、村役所で支払った。こんどの支給対象者は三百五件で三千八十三円七十一仙が支払われた。

成人

戦後最高の大人の

仲間入り

西原村では、村体育協会の共催で去る一月十五日午後二時から西原中学校講堂で六八年度第六回の成人式を行なった。前年八七名に對しことしは一八四名で戦後最高潮の年。当日は成人手帳と日本憲法手帳が配られた。記念講演として「若人に期待する」と題して村出身の北中城中学校長平敬男先生の講演で若人一同に

深い感銘を与えた。式後与那原町吉野元博教師を招いてダンスパーティーなど開いて楽しい一日を過ごした。

出納

住民課に分任

出納員を設置

西原村役所では、ことし新庁舎落成にもなつて役所の事務改善を実施しつつあるが、閲覧機抄本、諸証明、手数料取扱いの多い窓口事務を中心とする住民課に分任出納員として比嘉貞宗さんを任命して、今後住民サービスの計画をすすめている。

奉仕

母校の美化作業

西原小学校

西原小学校（与那嶺義孝校長）では今月卒業式をひかえて去る二月四日の日曜日を利用して、こんどの卒業生、校区内の体協、青年会、PTA父兄などの協力で運動場の整地、便所の修理、指導用かけ図の裏づけ、ペンキぬりなど全員の奉仕作業で美化した。これは戦後はじめて中部連合区教育委員会から体育研究校として指定をうけて、去る二月九日成果発表会に備えて実施されたもの。

体育

体育研究発表会

西原小学校（与那嶺義孝校長）では二月九日午前八時五十分から午後四時三十分まで西原小学校で体育学習における「ボール運動の技能を高めるにはどう指導すればよいか」をテーマに昨年四月、中部連合区教育委員会の指定で十カ月間の研究をまとめ当校職員発表会を開催した。当日は発表助言者として、文教局、琉球大学、中南北部の先生方も参列して盛大な発表会をおわった。

生年

生年祝をやめて寄附

西原村字兼久一〇〇番地にお住いの

大城孝憲さんでは、ことし七十三才の古稀の祝をやめて村育英会を通じて育英資金として金五拾弗を寄附された。大城さんは一九六一年七月三十一日まで村助役として二期つとめ、現在村教育委員会の副委員長である。大城さんは「こういった行事改善はわれわれからひきしめてやるべきだ」と、村子弟教育の資金に寄附され、新川村育英会長ほか職員一同深く感謝している。

表彰

翁長、宮平さん表彰

全沖縄身障者福祉大会で

西原村身体障害者協会では二月十六日琉球新報ホールで催された第五回全沖縄身障者福祉大会への表彰者を具申、翁長下代さんは自立更生者として沖縄戦で夫が戦死、本人も強制戦斗参加で左下腿砲弾切断され今日までその障害を克服し一家を自立更生させた。宮平春子さんは戦後三回も村婦人会長の職責にありながら沖縄工場西原洋裁所を設置し、六カ年あまり、少女の障害を更生援護指導し、一般技術者以上の洋裁技術を修得させた雇用主として表彰された。

入学

新入学通知

西原区教育委員会から

ことしもいよいよ新学期が近づき、新しく入学する児童の調査がはじまっています。この調査は西原村役所にある住民票にもとづいて行なわれていますが住民登録をしてない方や転入、転居の届け出をしてない方の児童には入学通知がなかったり、届けがなかったりして、四月入学にいくことになるります。

教育委員会では、該当児童の住所、氏名、生年月日などの調査を終っておりませんが、その後西原村に転入または移動された方は早めに住民登録の手続きをすませ、新しい住民票抄本を西原区教育委員会事務局に提出して下さい。

このように新しく入学する該当児童は一九六一年（昭和三十六年）四月二日から一九六二年（昭和三十七年）四月一日までの出生児となっています。あなたのお子様はもれていませんか、もう一度たしかめてみて下さい。

暮らしのメモ

1 時間を有効に

同じ日は二度なく、一日は二四時間といわなくても時間の大事なことはいわなくても分かります。しかしわかっていながらうかうかむだにしやすいのも時間です。最近農村も電化生活が進み、主婦の労働時間は減り、それだけ余裕ができたと思われまふ。したがってむだな時間をできるだけ少なくし、余暇をよりよい家庭づくりのために使うことが必要です。時間のマネージメントの要領を申し上げます。

①まず、仕事を組織立てること、それによって毎日しなければならぬことか自然に決まってきます。②決まった仕事を家族に分担せましよう。③そのためには家族共通の食事などを中心に時間と時刻を決めましよう。④残りの時間は各自でスケジュールをまとめ、みんなで協力して実行しましよう。

2 読書は考える力を育てる

最近の青少年の犯罪には、瞬間的、行動的なものが多く、もう少し思考力が働いたら犯罪に至らなくて済むのではないかと考えられます。非行少年の八〇パーセントが読書の習慣を持っていない事実と思ひ合わせて、親はもっと「子どもの思考力を育てる読書」に関心を持つてほしいものです。知識を与えるものには、テレビ、ラジオ、映画、図書、新聞、雑誌などありますが、考える力を養なう点では図書、新聞、健康な雑誌にまさるものはありません。読書の習慣によって子どもらの思考力を養ない、広い知識、物の理解、判断力を持たせたいものです。忙しい中でもちよつとしたくふうや努力で読書の時間は持てるはずです。母と子の二〇分間読書をすぐ実行しましよう。